

平成29年度第1回地域ネットワーク部会議事要旨

- 日時 : 平成29年4月26日(水) 18:05~19:05
場所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
構成員 : 11名
出席者 : 7名 宮里 浩(那覇市立病院)、中上 弘茂(スカイプ・八重山病院)、増田 昌人(琉大病院)、
新垣 千春(那覇市立病院)、本仲 寛美(中部病院)、當山 美奈子(琉大病院)、真鶴 善栄
(がん患者会連合会)
欠席者 : 4名 照屋 淳(北部地区医師会病院)、金城 達也(琉大病院)、伊江 将史(中部病院)、
川満 博昭(県立宮古病院)
陪席者 : 3名 南 大介、前原 克章(よりよい地域医療を応援する会)、城間 彩乃(琉大病院)

[報告事項]

1. 新規部会委員について

宮里部会長より、資料1に基づき、平成29年度地域ネットワーク部会の委員が紹介された。
新規委員として、琉大病院 當山美奈子看護師、県立中部病院 本仲寛美看護師が加わったことが報告された。

2. 平成28年度第4回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

宮里部会長より、資料2に基づき、平成28年度第4回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

3. 平成28年度がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

宮里部会長より、資料3に基づき、平成29年3月末日時点のがん地域連携クリティカルパスの適用状況について、3拠点病院の合計は72例で、施設別では、那覇市立50例、琉大病院21例、中部病院が1例の順になっていることが報告された。

4. 今年度の事業計画について

宮里部会長より、資料4に基づき、今年度の事業計画が報告された。

5. その他

- ・真鶴委員より、別紙資料に基づき、今年度の沖縄県がん患者会連合会の事業予定が報告された。
- ・宮里部会長より、那覇市立病院医療支援部から申し出があり、「ていーあんだパス」の情報共有として、協議会HPがんネットがんじゅうに掲載依頼がある件が報告された。各委員より、賛同を得られたため、近日中に掲載することとなった。
- ・NPOよりよい地域医療を応援する会より、別紙資料に基づき、福岡県、長崎県、山口県での活動報告があった。また、沖縄県の今後の課題として、大腸がん以外のがん種のパスの普及に関して、肝がんや肺がんの状況改善にアプローチしていきたいと提案があった。

[協議事項]

1. 平成29年度部会長及び副部会長の選出について

宮里部会長より、資料1に基づき、今年度の部会長及び副部会長の選出について、立候補もしくは推薦がないか声掛けがあった。部会規則により、部会長1名、副部会長2名が規定となっている。

立候補は無かった為、前年度に引き続き、部会長 宮里浩医師、副部会長 金城達也医師が推薦された。また、もう一名の副部会長に中部病院の伊江将史医師が推薦された。(其々の拠点病院から選出するのが望ましい為)伊江委員は、本日欠席の為、後日、事務局より依頼をすることとなった。

2. 沖縄県内のがん診療連携拠点病院以外の市中病院における地域連携に関する講演会等の企画開催について

宮里部会長より以下について報告があった。

(1) 中頭病院への講演会依頼の状況について

宮里部会長より、中頭病院外科當山医師へ講演会の依頼をして、内諾を頂いたことと、可能であれば、中頭病院で講演会を開催したい意向を伝えた旨が報告された。

また、県立中部病院伊江委員へ上記経緯を伝え、日程調整を依頼したが、現在は、回答待ちの状況と報告された。

(2) 講演会企画(主にテーマ)について

前回の部会で検討された様に、講演会のテーマを「がん地域連携」に絞るのではなく、中部地区の医療連携としての課題や問題点をあげる等、何かしら工夫が必要ではないかと提案があった。

各委員より以下の意見があがった。

- ・中部地区のかかりつけ医側の意見をきくのはどうか。(医療連携の課題、問題点等)
- ・患者さん側の意見をきくのはどうか。(医療連携の経験談等)
- ・中部地区にホスピスの病院が少ない為、情報も偏っている。急性期病院とホスピスの違い(メリット・デメリット等含む)を情報提供してはどうか。

(3) 開催時期について

伊江委員の回答待ちであるが、5月中に日程調整を行い、候補日が絞られた時点で、宮里部会長より、中頭病院長もしくは理事長へ講演会企画を依頼することとなった。

3. 次回開催について

次回開催日は、7月5日(水)が第一候補に挙がっている。日程確定に関しては、後日メールにて調整することとなった。